

平成27年度第1回 中津川市環境保全審議会議事録

日 時 平成27年11月4日(水) 15時～
場 所 中津川文化会館小会議室
出席委員 井戸美子委員、栗谷本征二委員、瀬瀬登美子委員、富田進委員(会長)、古澤裕二郎委員、横山英邦委員
事務局 青山節児市長、曾我和幸生活環境部長、坪井透生活環境部次長、早川泰典環境政策課長、草野順樹環境政策係長、鈴木唯仁主査

1. 開会

- ・早川環境政策課長より開会の宣言

2. 市長挨拶

3. 富田会長あいさつ

4. 議題

- 【報告事項】①「中津川市の環境(平成26年度)」について
(草野環境政策係長から資料1を説明)

富田会長 大気の状態では、偏西風の影響で中国から pm2.5 がもたらされ、濃度が問題となっている。市の監視体制は、どのようになっていますか。

草野係長 岐阜県で平成26年12月に中津川測定局に pm2.5 の観測装置を設置し、常時監視を行っております。環境基準を上回る状況が発生すれば、防災無線や保育園や学校、老人施設等への連絡で屋外への外出や運動を控えるよう周知を行います。

横山委員 水環境の環境基準で「人の健康の保護に関する環境基準」は全ての川で基準を達成しているということですか。

草野係長 毎年継続測定している地点では、昨年度は全て基準内です。

- 【審議事項】②「第3次中津川市環境基本計画(案)」について
(草野環境政策係長から資料2を説明)

瀬瀬委員 自然エネルギーの活用、太陽光発電の推進は是非進めてほしいと思います。また、ごみ減量化はとても大事な取り組みですが、市内で活動している事業者にも積極的

に働きかけていく必要があります。コンビニなどで毎日大量の廃棄物が出ると予想しますが、それらがどのような経路で処分されていくのか、市の環境センターで焼却されているのか流れを確認していただきたい。また、家庭での取組みとしては、食品ロスと水切りの徹底が減量化につながると考えます。

草野係長 生ゴミの水切りの徹底については、市民に拡げていかなければならない取組みと考えており、11月に布類の回収と生ゴミの水切りの徹底について回覧チラシを入れさせていただいた。一人一人の気づきから結果につなげていきたい。

栗谷本委員 自然環境団体と行政との協働作業が大事。行政がいろいろな団体をつなぐ事務局としてパイプ役となっていく必要がある。

古澤委員 環境教育・環境学習はたいへん大切な取組みであり、さらに充実していくべきと考えます。幼保園から小学校、中学校、大人まで一連、一貫した学習プログラムが組まれるといいと思います。

草野係長 ただ今いただきました内容を盛り込んで、今後の検討させていただきます。

【審議事項】③「ごみ減量施策の推進状況について」

栗谷本委員 大人への啓発としては、各町内会での説明会くらいで意識を植え付けていけないとごみは減らない。また、子どもから各家庭でのごみ減量への意識を啓発していくことも効果が高い。

早川課長 今年は全ての地域で住みよい環境づくり推進員ブロック会議を開催し、ごみ減量やごみの分別について説明を行ってきました。各町内会、常会単位での出前講座や説明会の実施も積極的に行っていきたい。

5. その他

早川課長 環境保全審議会委員の任期が平成27年12月24日までとなっておりますが、審議会には、来年3月まで環境基本計画策定に向けて諮問、答申をお願いしていただかなければならないため、委員の選任には引き続き現委員の全ての方をお願いしたいと考えております。

次回第2回目を2月に開催させていただき、環境基本計画案について諮問をさせていただき、第3回目は3月に開催し、その答申を受けたいと考えておりますのでお願いします。

6. 閉会

早川課長より閉会の宣言

以上